

分科会開催報告書

報告日 平成 29年 5月 25日	報告書 小幡 友子
分科会名 浮雲俳句会	開催テーマ 第110回浮雲俳句会例会
開催日時 平成29年 5月 21日(日) 午前9時30分～11時30分	開催場所 能見台地区センター多目的室-B
参加人数 “わ”の会会員 男12名 女5名	合計17名 欠席者 0名

実施内容

第110回例会は、兼題の①尾瀬沼②初夏の人事（農耕から情緒まで）と当季雑詠の4句。句会は、大川会員による添削披露及び、太田耕蔵会員による選句の披講の後、北野主宰から天・地・人賞及び、特選5句、佳作8句の発表と、夫々の句についての論評があった。

天賞句	尾瀬沼へ清和の天と燧ヶ岳	一 馬
地賞句	あめんぼう水の地球をひとりじめ	勇 平
人賞句	陸奥に生れ小柴育ちの帆立貝	重 九
特選句	緑さす尾瀬沼見張る峠道	一 幸
	尾瀬沼に歩荷が運ぶ夏の雲	國 眼
	尾瀬沼の逆さ燧に蓮開く	あきえ
	夏霧の尾瀬沼の水面にりゆく	和 女
	尾瀬沼にリュック背負ひし日焼顔	二 祥

主宰の指導

格助詞「に」「へ」「を」は、意味の違いを判断し、使い分けに留意する。また、切れ字「や」については、間・余白・強調等、句に効果的かどうか考慮して用いるように。

会員選高点句

7点句	薫風に髪なびかせて一輪車	十 九
6点句	吊革に五月の腕をぶらさげて	一 清
6点句	薫風の抜ける切株握り飯	三 旦

次回の予定

平成29年6月4日(日) 午後0時30分～午後4時 第20回金沢区民俳句大会への参加。
当期雑詠2句(内1句は、ご当地俳句)